

スキーアクティビティ A

| | | | | | | | | | | | |
|------|------|-----|----|------|----|----|--------------|-----|----|----|---|
| 対象 | 1年次 | 開講期 | 後期 | 区分 | 選※ | 種別 | 実習 | 時間数 | 30 | 単位 | 1 |
| 担当教員 | 志鷹慎吾 | | | 実務経験 | 有 | 職種 | スキーアクティビティ A | | | | |

授業概要

レベルに応じたスキーの基本技能を理解します。レベル別バッジ検定を実施します。

到達目標

各個人の技量にあった技術レベルで、自ら危険を判断して回避できる能力を身につける。冬山におけるマナーなど実際に体験をし、雪質を含む斜面状況や気象変化、他のスキーヤー、スノーボーダーの位置、速度に対する危険予知能力を高め、自然の中でスノースポーツを安全に楽しむこと学ぶ。

授業方法

レベルが同一のグループに分かれて、各自バッジテスト1～5級の取得をめざす。技能レベルの取得のみならず、自然との触れ合いや集団行動など、社会人として必要なスキルを包括的に学ぶ。

成績評価方法

最終日に実施する実技試験および実習中に行われる課題によって評価する。

履修上の注意

授業時数の4分の3以上出席しない者は評価することができない。講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないようにすること。スキー滑走中は必ずキャップ、ゴーグル等を着用すること。身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者に単位取得は認めない。

教科書教材

特になし。

| 回数 | 授業計画 |
|-----|-----------|
| 第1回 | オリエンテーション |
| 第2回 | 雪山事故について |
| 第3回 | スキー用具について |

スキ-実習A

| | |
|------|------------|
| 第4回 | 基本的な動作 |
| 第5回 | プレークボーゲン① |
| 第6回 | プレークボーゲン② |
| 第7回 | シュテムターン① |
| 第8回 | 基礎パラレルターン① |
| 第9回 | シュテムターン② |
| 第10回 | 基礎パラレルターン② |
| 第11回 | 基礎パラレルターン③ |
| 第12回 | パラレルターン① |
| 第13回 | 基礎パラレルターン④ |
| 第14回 | パラレルターン② |
| 第15回 | バッジテスト |